



久保 貴洋 議員(大樹会)
新庁舎周辺をメインとした、今後のイベントについて

Q 今年の秀郷まつりは新庁舎落成後、初めて開催になるが、内容は。また、例年通りではない、魅力あるイベントのアイデアはあるか。

A 観光スポーツ部長

今年是新庁舎を中心として、庁舎南側駐車場にメインステージ、グルメランドを設けます。市民総踊り、秀郷流流鏝馬、なかよしプレイランド、駅前ステージ、みこし・おはやし巡行は例年通りの開催です。また、今年は2年に1度のキャンペーンスタッフコンテストや庁舎内の市民活動スペースを活用して、さのまるイベントも開催します。

なお、今年のまつり終了後には検討委員会を早めに開催し、佐野の伝統と新しい文化を市内外に効果的に発信できるまつりとなるよう民間のイベント会社とのコラボレーションも含め、来年度以降の実施内容を検討してきましたと考えています。

その他の質問
☆今夏の熱中症対策について
☆豪雨対策について



▲ 秀郷流流鏝馬



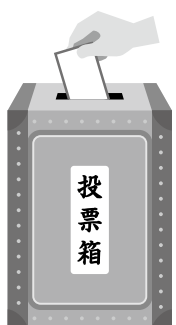
齋藤 弘 議員(政友みらい)
選挙権年齢の引き下げについて

Q 本市の投票率は、国政選挙、地方選挙を含め、多少の上がり下がりはあるが長期的にみると低下傾向にある。特に、若い世代の有権者の投票率が低い。そこで選挙の大切さ、政治参加の大切さ、自分が主権者であるという教育が重要であり、本市としての若者への主権者教育の重要性、方針について伺いたい。

A 選挙管理委員会書記長

27年6月に選挙権年齢の18歳への引き下げという大きな法律改正がなされ、今までも増して主権者教育の重要性が求められているものと考えています。選挙管理委員会としては自ら考え、自ら判断し、行動できる児童生徒を育てるための効果的な主権者教育の実現に向けて、教育現場との連携を図りながら啓発活動に取り組んでいきます。

その他の質問
☆まち・ひと・しごと創生総合戦略について
☆全国学力テスト成績向上について
☆マイナンバー制度に関するセキュリティ対策について



投票箱



木村 久雄 議員(公明党議員会)
防災・減災対策について

Q 阪神・淡路大震災、東日本大震災、そして今回の熊本地震と、震災の度に赤ちゃんのミルクの確保が問題になっている。この問題の打開策として、日本における液体ミルクの製造販売だと考えるが、本市として防災対策の観点からどのように考えているのか。

A 行政経営部長

液体ミルクについては、大規模災害が発生し、水道や電気、ガスなどのライフラインが寸断された場合には、調乳や哺乳瓶の消毒は困難が予想されますので、液体のままパックされている液体ミルクは大変有効な手段であると考えます。しかし、法律により国内での販売が認められていないため、本市では液体ミルクの備蓄は現時点では考えていません。

液体ミルクの販売が国において認可された場合、改めて本市では協議しまして、備蓄品に加えるか検討していきます。

その他の質問
☆農業の活性化について
☆ポードスポーツについて

※(乳児用)液体ミルクとは・・・
乳児が母乳の代わりとして飲むことができるように、栄養成分を調整されたミルクです。容器内のミルクを乳幼児がそのまま飲むことができるため、災害時においても衛生的な水で煮沸消毒をする必要がありません。しかし、厚生労働省の規制により、現在、国内での製造・販売はされていません。